

# 1人当たり医療費における全国平均との経年比較

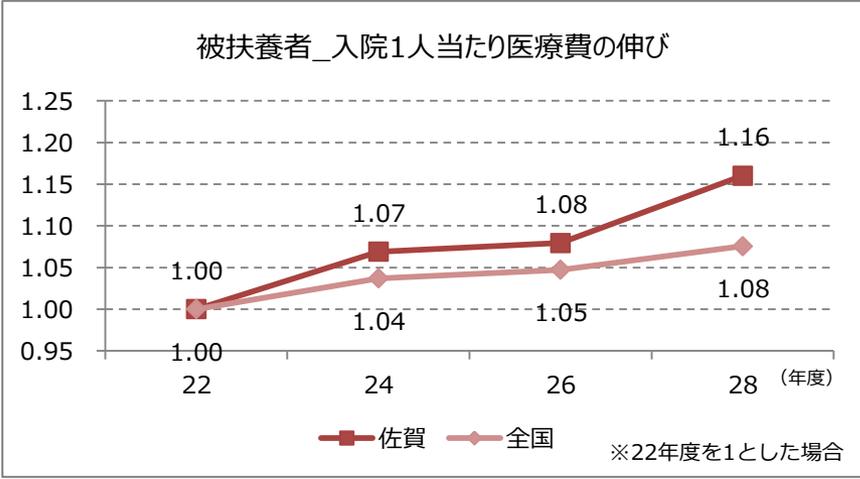
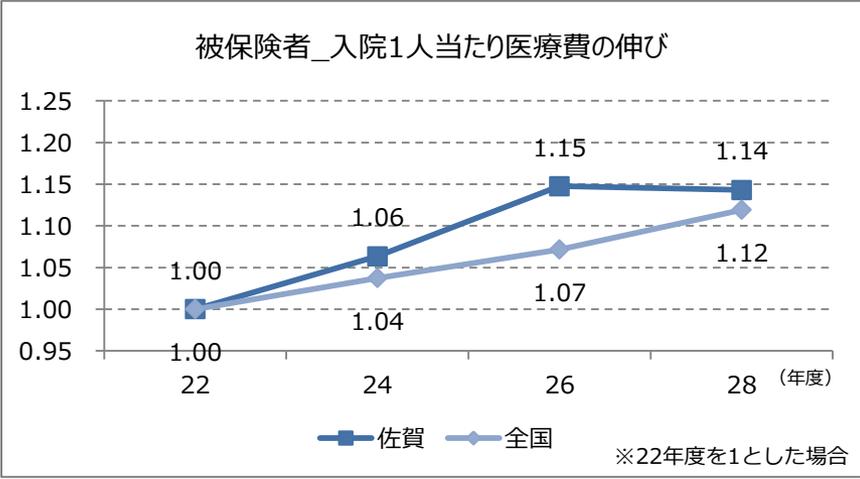
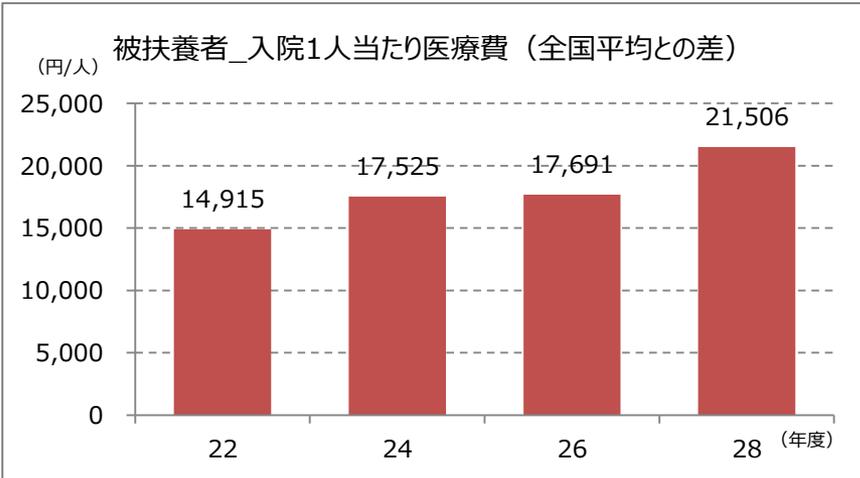
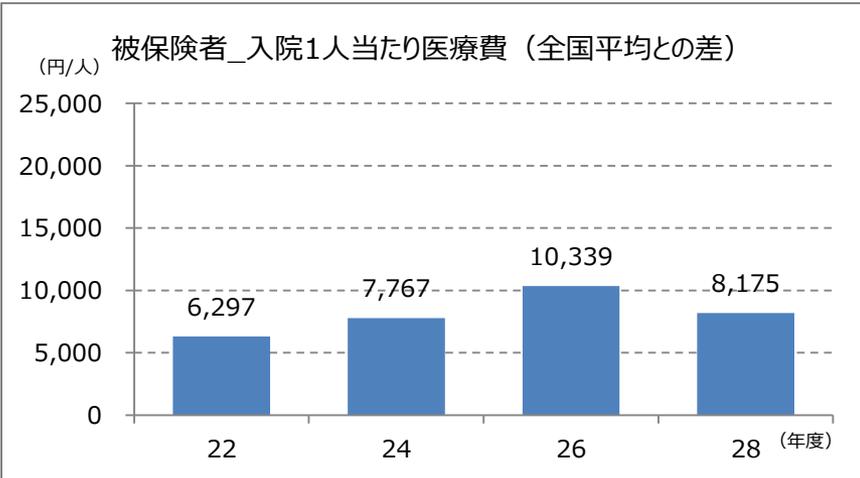
全国健康保険協会 佐賀支部

## 【留意事項】

- 本資料のデータは、協会けんぽHPに掲載してある「加入者基本情報」及び「医療費基本情報」を使用しています。
- 本資料のデータは、「請求ベース」の数値であり、HPに掲載している「協会けんぽ月報」の数値（「確定ベース」）とは一致しません。
- 本資料のデータは、加入者の事業所所在地の都道府県毎に集計してあります。
- 疾病分類については、複数の傷病が記載されているレセプトから主傷病を特定して分類したものです。レセプトの主傷病があることを表すフラグがある場合はその傷病を、ない場合はレセプトに記載されている順番が最も早い（先頭に記載されている）傷病を主傷病としています。

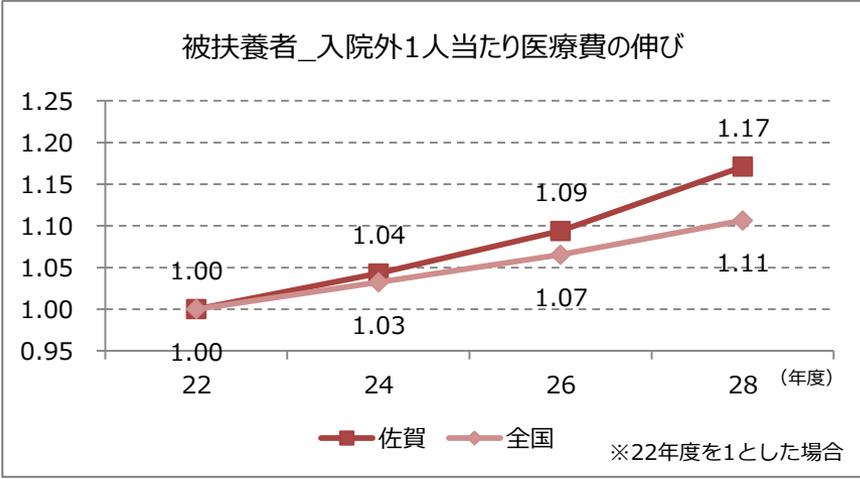
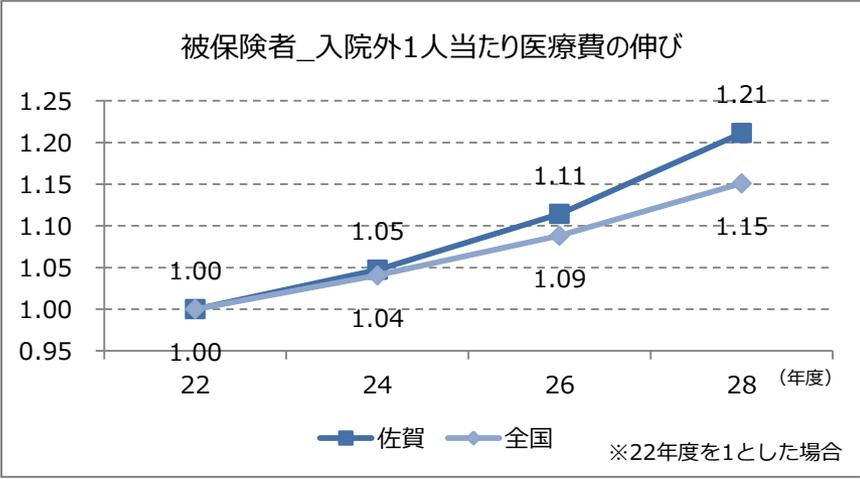
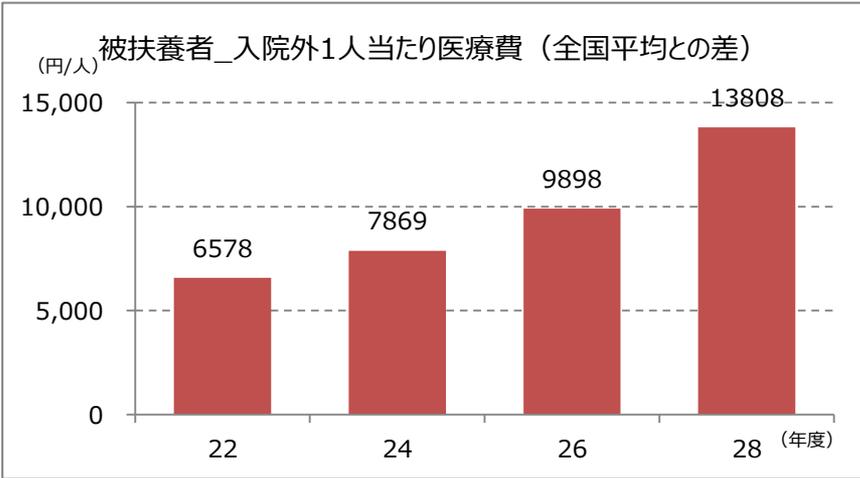
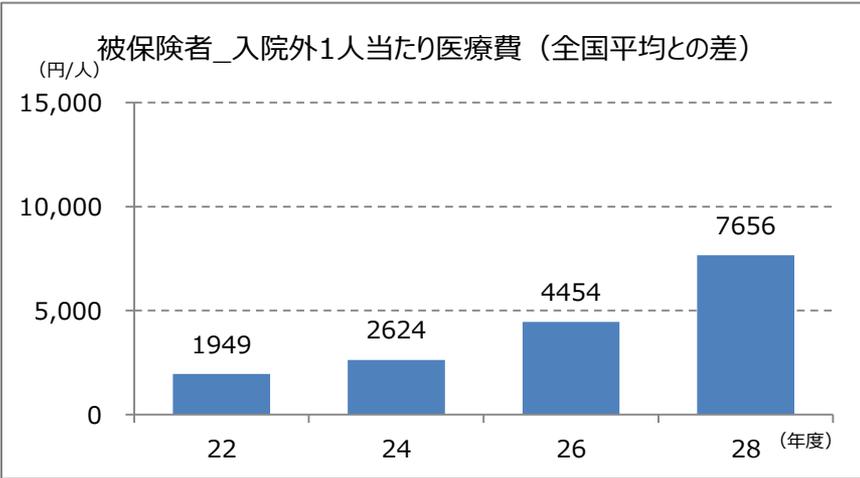
# 【入院】1人当たり医療費

- 入院1人当たり医療費における全国平均との差は、被扶養者のほうが大きく、拡大傾向にある。
- 入院1人当たり医療費の伸びは、被保険者・被扶養者ともに増加傾向である。また、全国平均と比較すると、被保険者は同程度に落ち着いているが、被扶養者は差が拡大している。



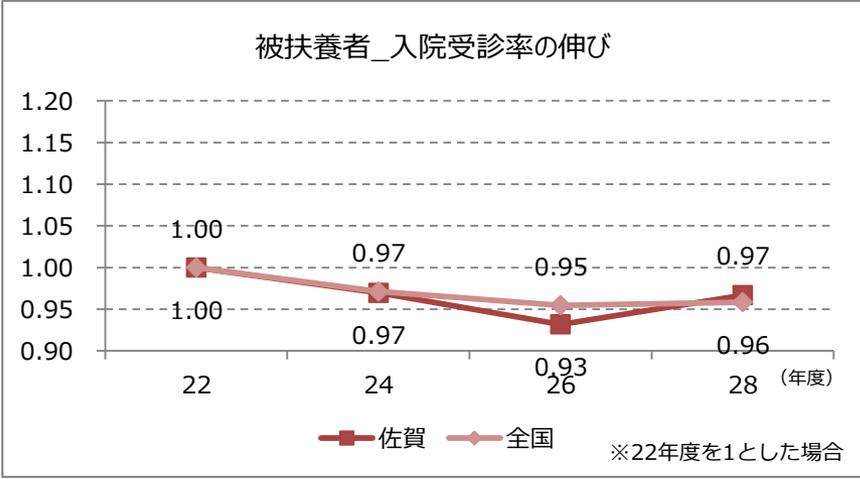
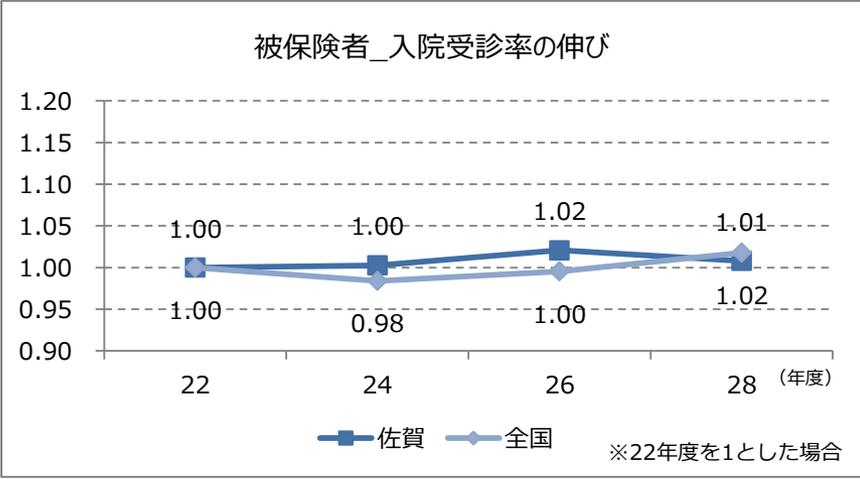
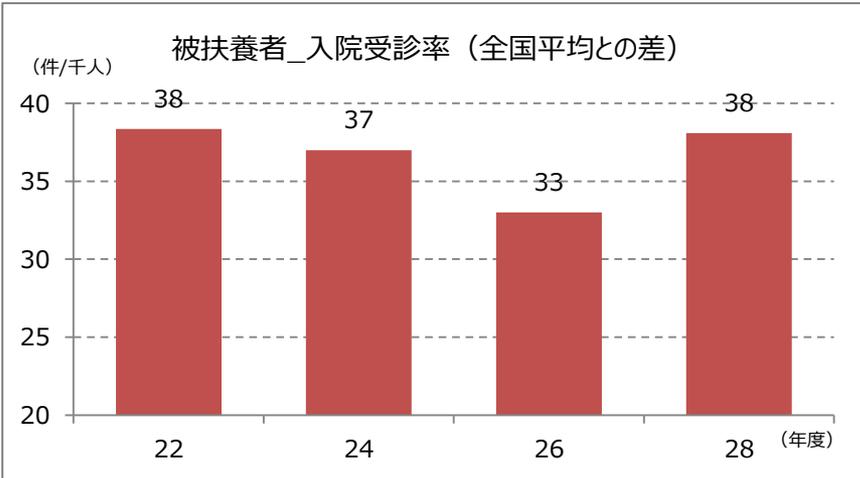
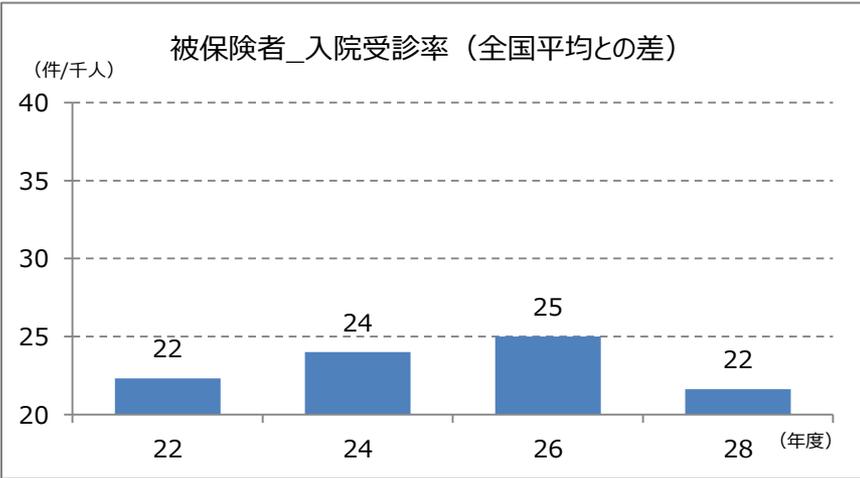
# 【入院外】1人当たり医療費

- 入院外1人当たり医療費における全国平均との差は、被扶養者のほうが大きく、拡大傾向にある。
- 入院外1人当たり医療費の伸びは、被保険者・被扶養者ともに増加傾向であり、全国平均と比較すると、被保険・被扶養者ともに拡大傾向にある。



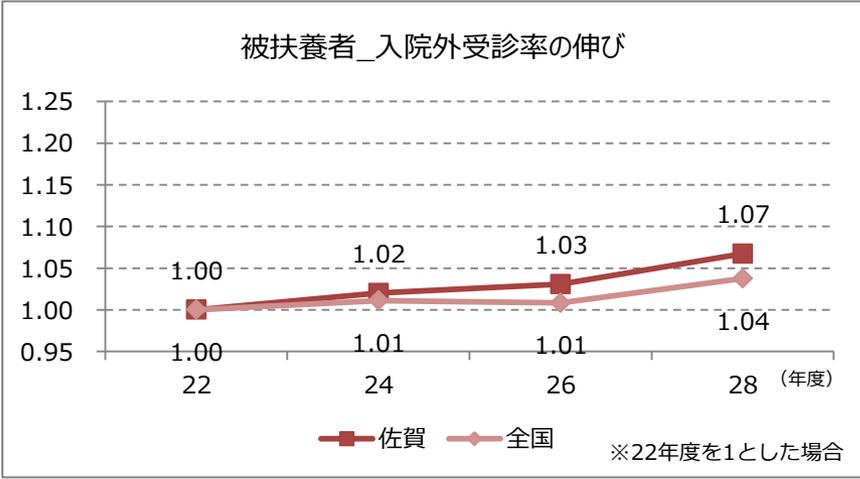
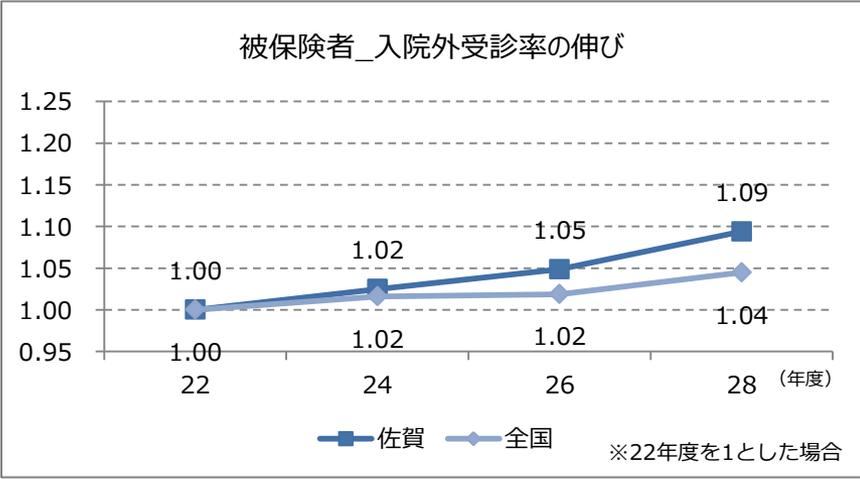
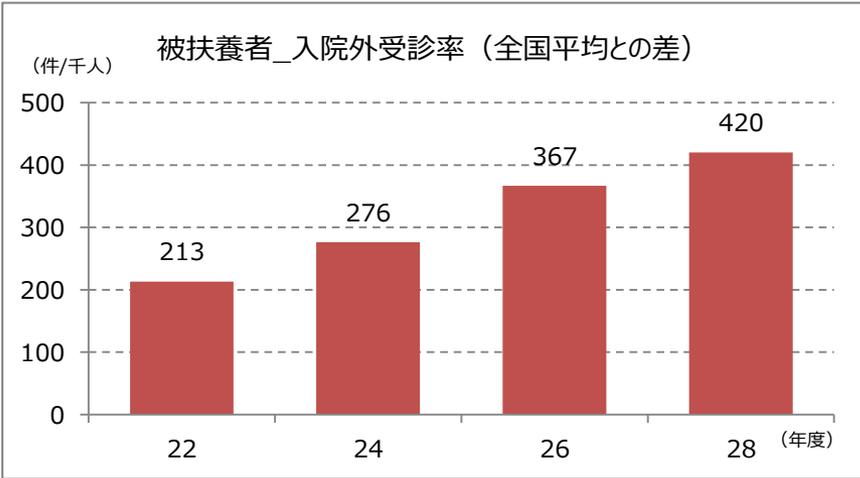
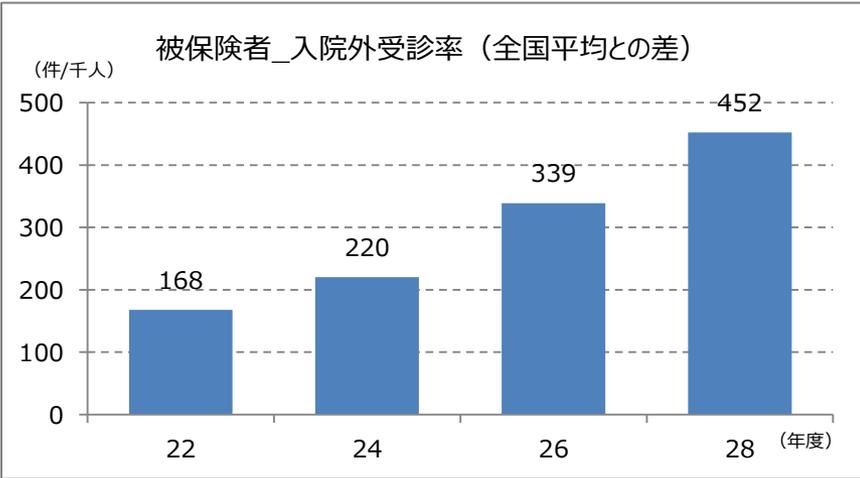
# 【入院】受診率

- ▶ 入院受診率における全国平均との差は、被扶養者が大きい。
- ▶ 入院受診率の伸びは、被保険者は横ばい、被扶養者は減少傾向である。また、全国平均と比較すると、ほぼ当程度に推移している。



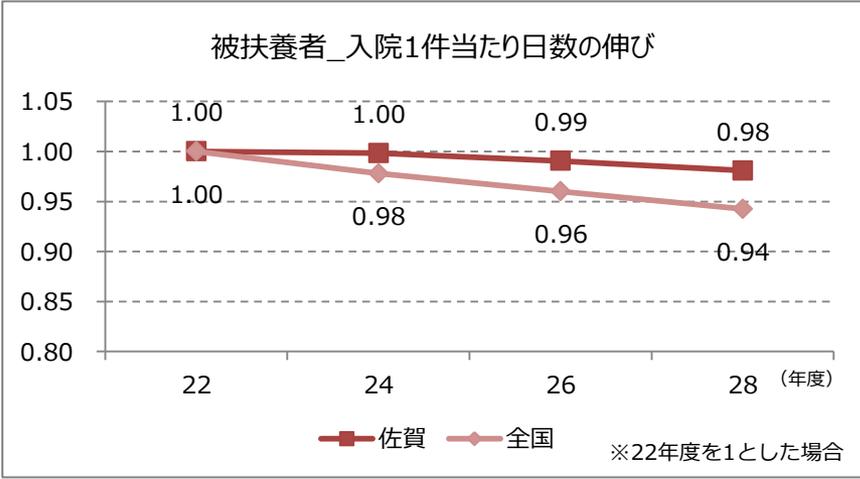
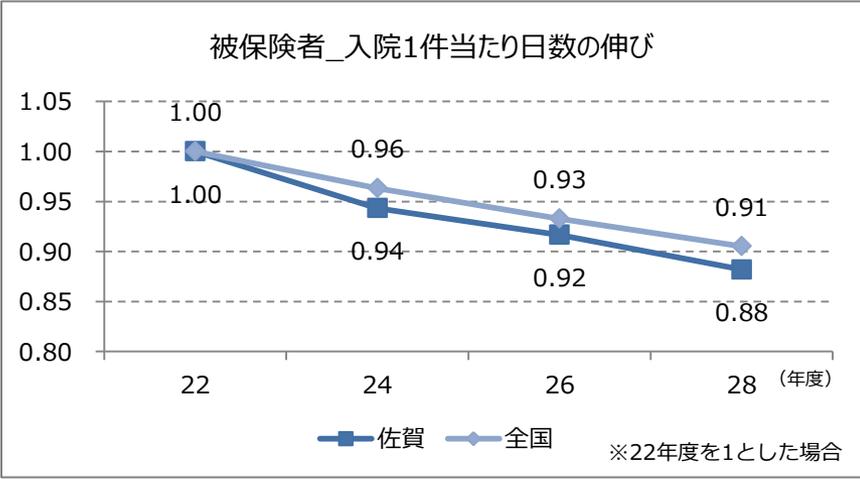
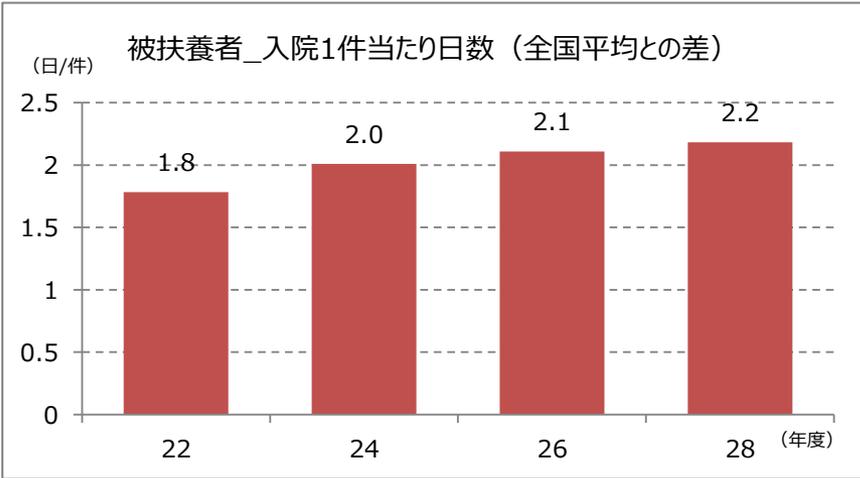
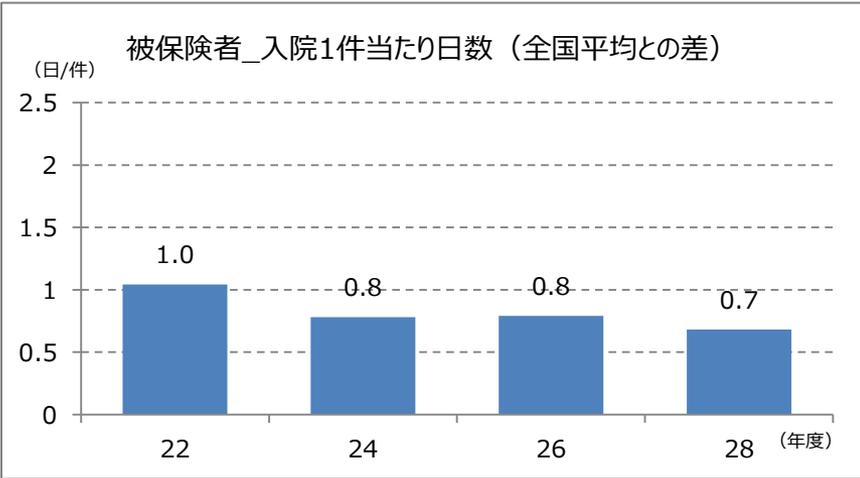
# 【入院外】受診率

- ▶ 入院外受診率における全国平均との差は、被保険者と被扶養者は同程度である。
- ▶ 入院外受診率の伸びは、被保険者・被扶養者ともに増加しており、全国平均と比較すると、被保険者のほうが拡大傾向である。



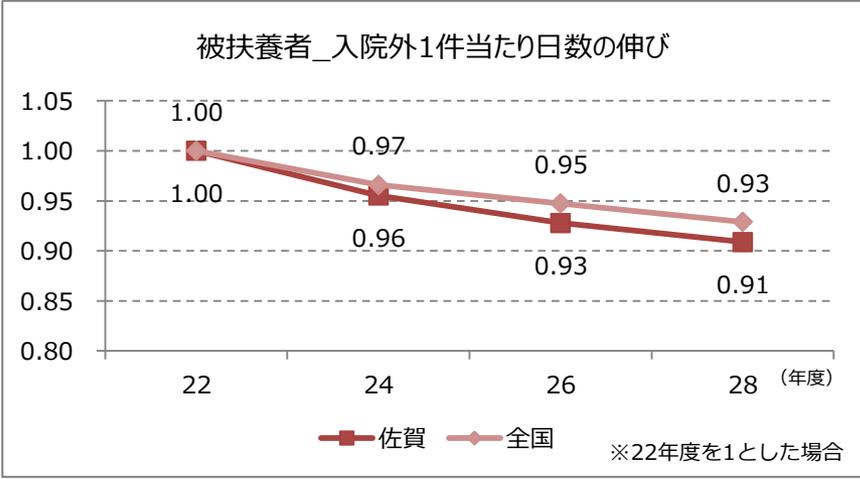
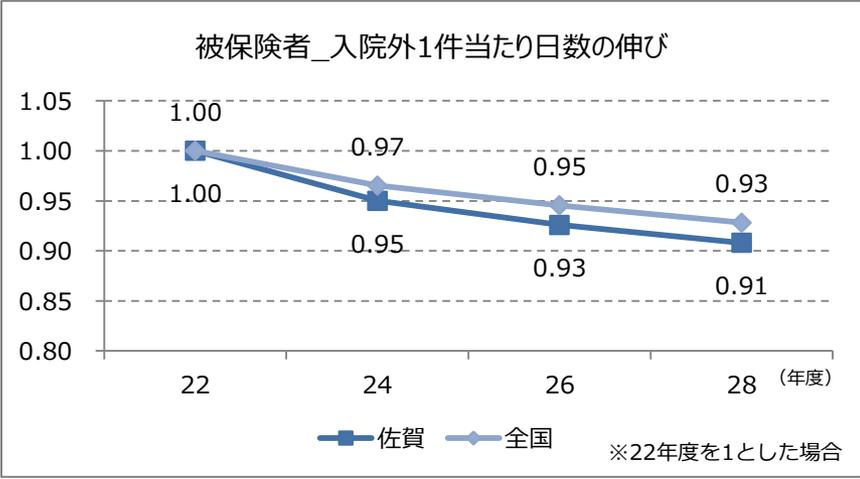
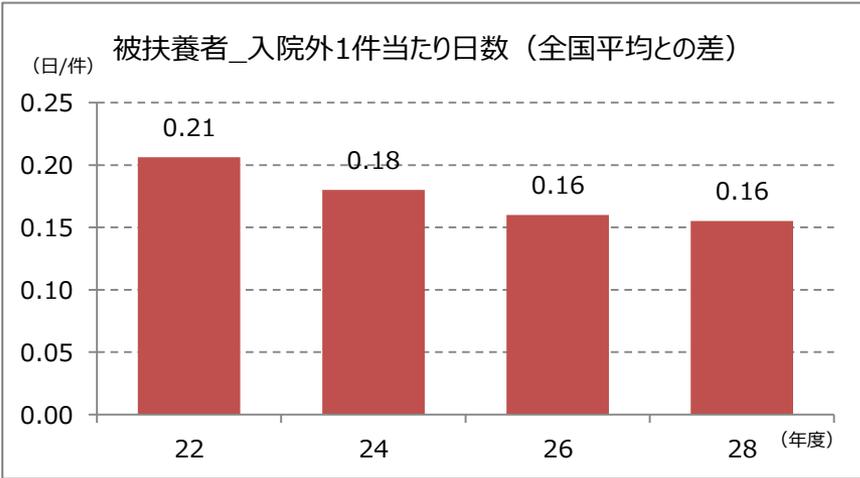
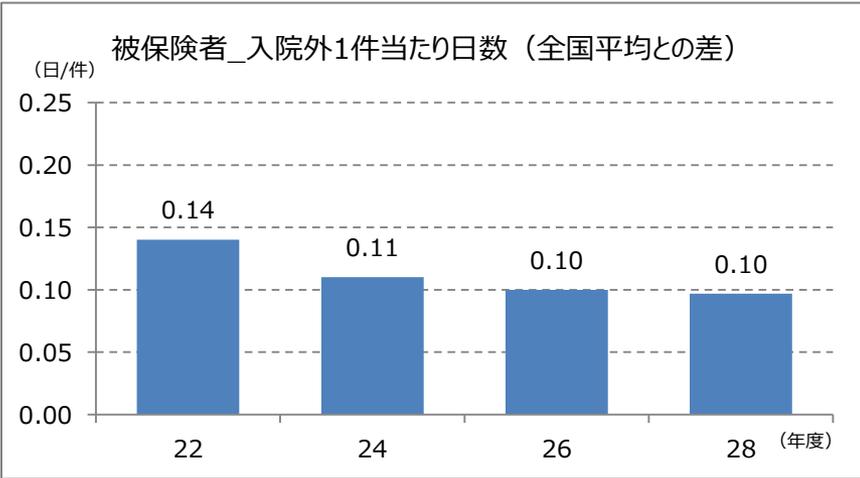
# 【入院】1件当たり日数

- ▶ 入院1件当たり日数における全国平均との差は、被扶養者のほうが大きい。
- ▶ 入院1件当たり日数の伸びは、被保険者・被扶養者ともに減少傾向である。全国平均と比較すると、被保険者は若干上回っており、被扶養者は差が拡大している。



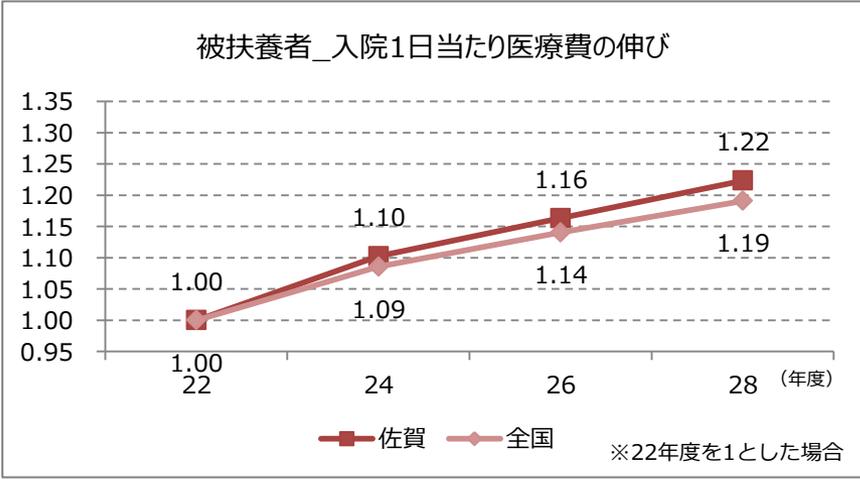
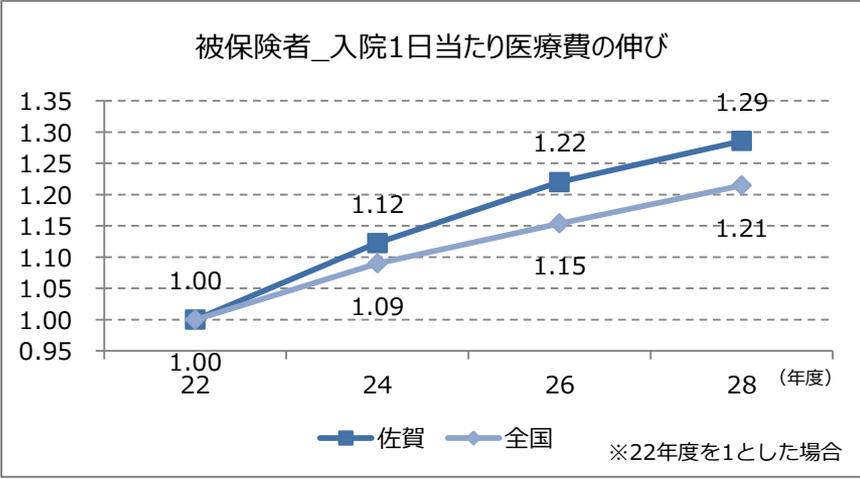
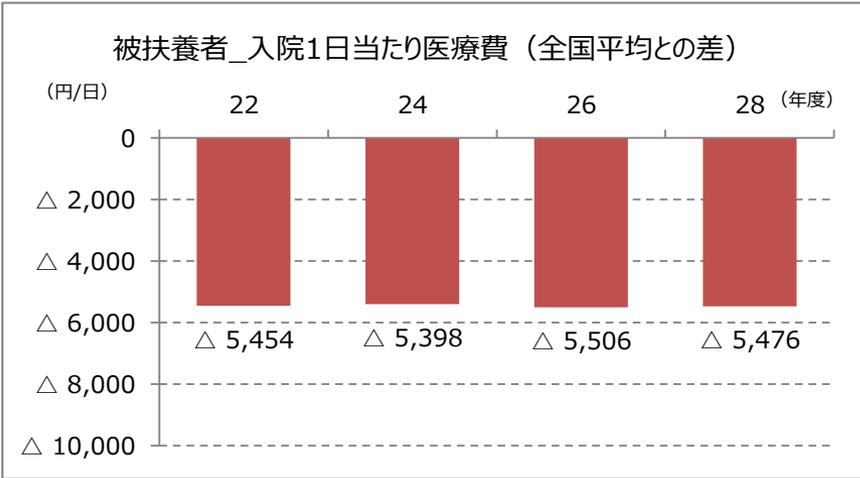
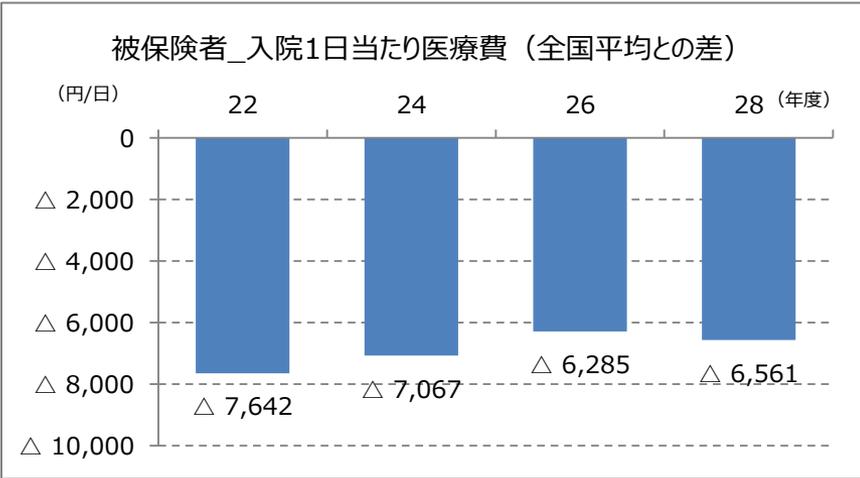
# 【入院外】1件当たり日数

- ▶ 入院外1件当たり日数における全国平均との差は、被扶養者のほうが大きい。
- ▶ 入院外1件当たり日数の伸びは、被保険者・被扶養者ともに減少傾向であり、全国平均と比較すると同程度である。



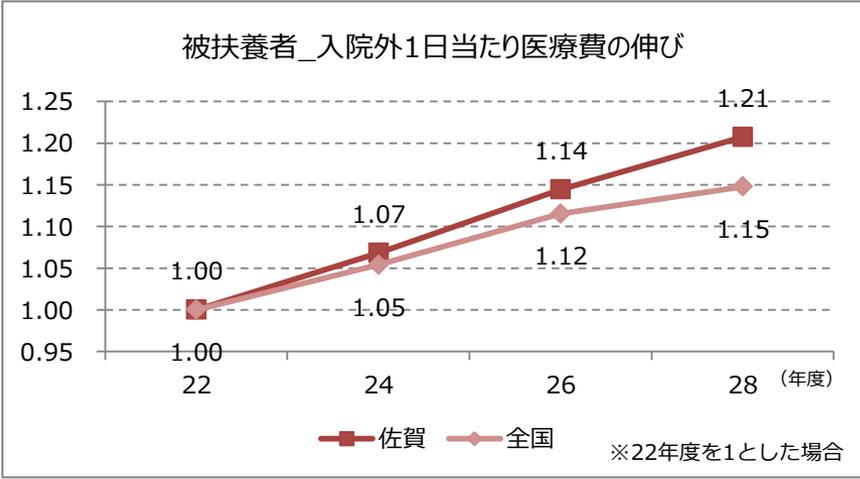
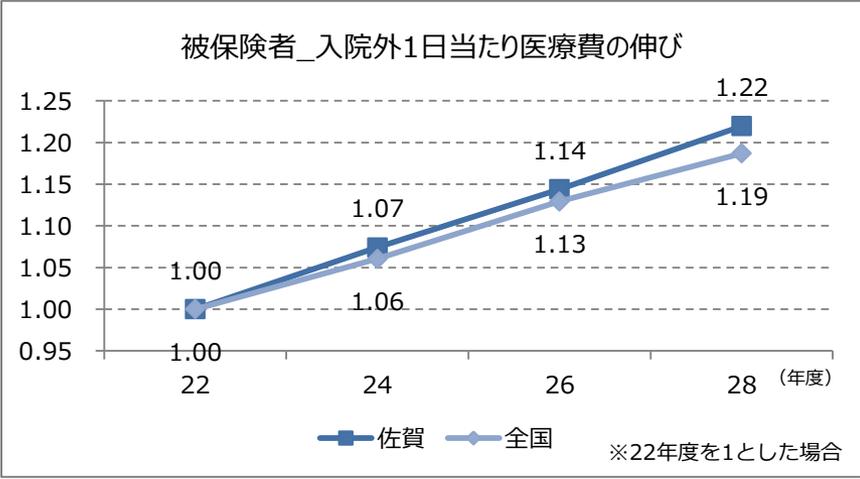
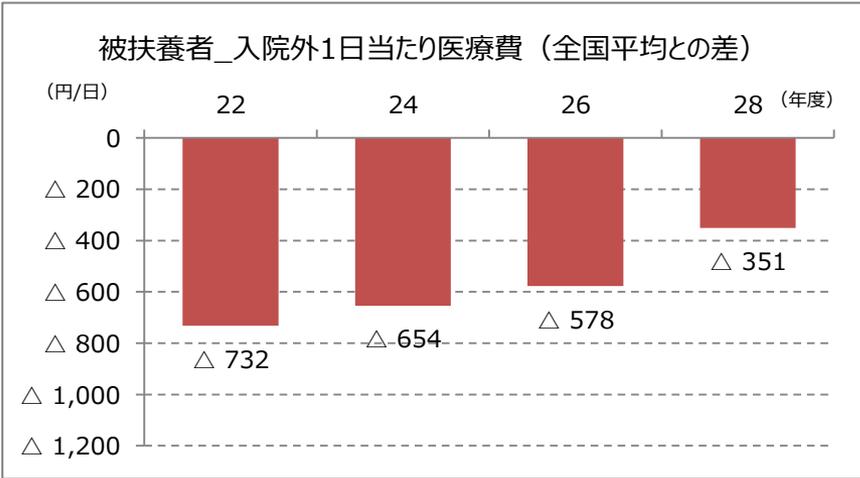
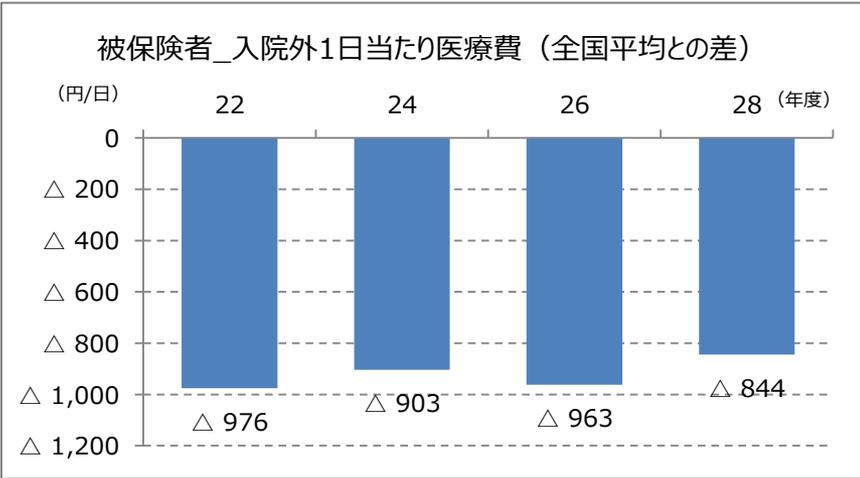
# 【入院】1日当たり医療費

- ▶ 入院1日当たり医療費の全国平均との比較について、被保険者・被扶養者ともに全国平均よりも低い。また、被保険者と被扶養者の全国平均との差を比較すると被扶養者のほうが小さく、全国平均と比較した入院1日当たり医療費は被保険者より被扶養者のほうが高い。
- ▶ 入院1日当たり医療費の伸びは、被保険者・被扶養者ともに増加傾向であり、全国平均と比較すると拡大傾向にある。



# 【入院外】1日当たり医療費

- ▶ 入院外1日当たり医療費の全国平均との比較について、被保険者・被扶養者ともに全国平均よりも低い。また、被保険者と被扶養者の全国平均との差を比較すると被扶養者のほうが小さく、全国平均と比較した入院外1日当たり医療費は被保険者より被扶養者のほうが高い。
- ▶ 入院外1日当たり医療費の伸びは、被保険者・被扶養者ともに増加傾向であり、全国平均と比較すると同程度である。



## 【入院】1人当たり医療費における3要素の影響

- ▶ 被保険者において、22年度と28年度のかい離の差は、2.5ポイントであり、1日当たり医療費の影響分が4.9ポイントと大きい。
- ▶ 被扶養者において、22年度と28年度のかい離の差は、10.2ポイントと大きく、3要素すべてが増加している。特に1件当たり日数の影響分が大きい。

### ●22年度と28年度の比較（被保険者）

	22年度	28年度	差
佐賀支部と全国平均の1人当たり医療費の差（円）	6,297	8,175	1,878
受診率の違いによる差（円）	9,622	10,577	955
1件当たり日数の違いによる差（円）	3,493	2,991	△502
1日当たり医療費の違いによる差（円）	△6,817	△5,393	1,425

全国平均とのかい離（%）	15.4	17.8	<b>2.5</b>
受診率の要素の影響分（%）	23.5	23.0	△0.4
1件当たり日数の要素の影響分（%）	8.5	6.5	△2.0
1日当たり医療費の影響分（%）	△16.6	△11.7	4.9

### ●22年度と28年度の比較（被扶養者）

	22年度	28年度	差
佐賀支部と全国平均の1人当たり医療費の差（円）	14,916	21,506	6,591
受診率の違いによる差（円）	15,591	18,581	2,990
1件当たり日数の違いによる差（円）	6,709	9,622	2,914
1日当たり医療費の違いによる差（円）	△7,384	△6,697	687

全国平均とのかい離（%）	30.0	40.3	<b>10.2</b>
受診率の要素の影響分（%）	31.4	34.8	3.4
1件当たり日数の要素の影響分（%）	13.5	18.0	4.5
1日当たり医療費の影響分（%）	△14.9	△12.5	2.3

## 【入院外】1人当たり医療費における3要素の影響

- ▶ 被保険者において、22年度と28年度のかい離の差は、11.9ポイントと大きく、受診率の影響分が10.8ポイントと大きい。
- ▶ 被扶養者において、22年度と28年度のかい離の差は、12.6ポイントと大きく、受診率と1日当たり医療費の影響分がそれぞれ大きい。

### ● 22年度と28年度の比較（被保険者）

	22年度	28年度	差
佐賀支部と全国平均の1人当たり医療費の差（円）	1,948	7,656	5,708
受診率の違いによる差（円）	2,662	7,951	5,289
1件当たり日数の違いによる差（円）	7,377	6,494	△883
1日当たり医療費の違いによる差（円）	△8,091	△6,789	1,302

全国平均とのかい離（%）	4.8	16.7	<b>11.9</b>
受診率の要素の影響分（%）	6.5	17.3	10.8
1件当たり日数の要素の影響分（%）	18.0	14.1	△3.8
1日当たり医療費の影響分（%）	△19.7	△14.8	4.9

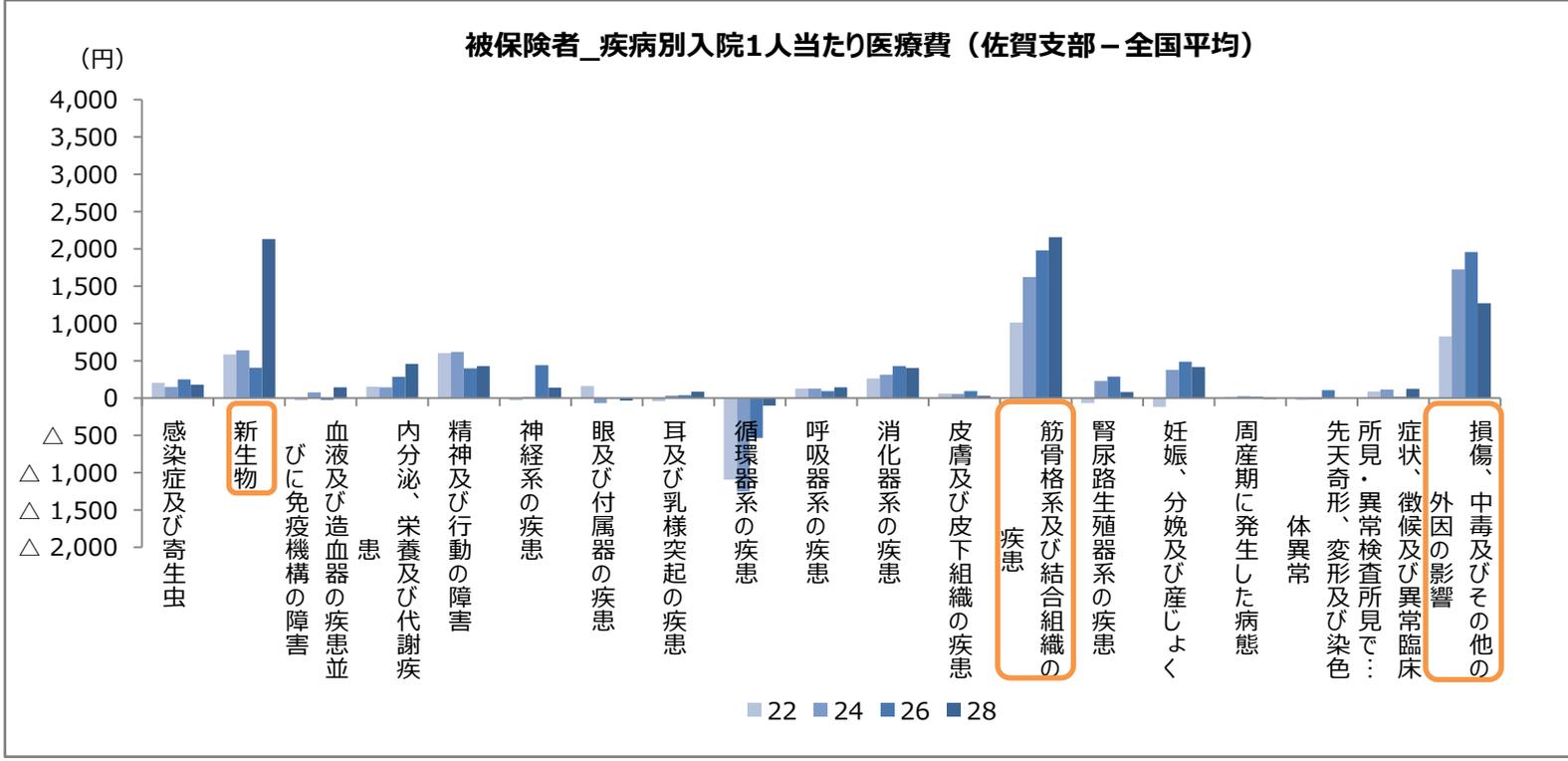
### ● 22年度と28年度の比較（被扶養者）

	22年度	28年度	差
佐賀支部と全国平均の1人当たり医療費の差（円）	6,578	13,808	7,230
受診率の違いによる差（円）	3,201	6,922	3,721
1件当たり日数の違いによる差（円）	11,089	10,447	△642
1日当たり医療費の違いによる差（円）	△7,712	△3,561	4,151

全国平均とのかい離（%）	13.3	25.9	<b>12.6</b>
受診率の要素の影響分（%）	6.4	13.0	6.5
1件当たり日数の要素の影響分（%）	22.3	19.6	△2.8
1日当たり医療費の影響分（%）	△15.5	△6.7	8.9

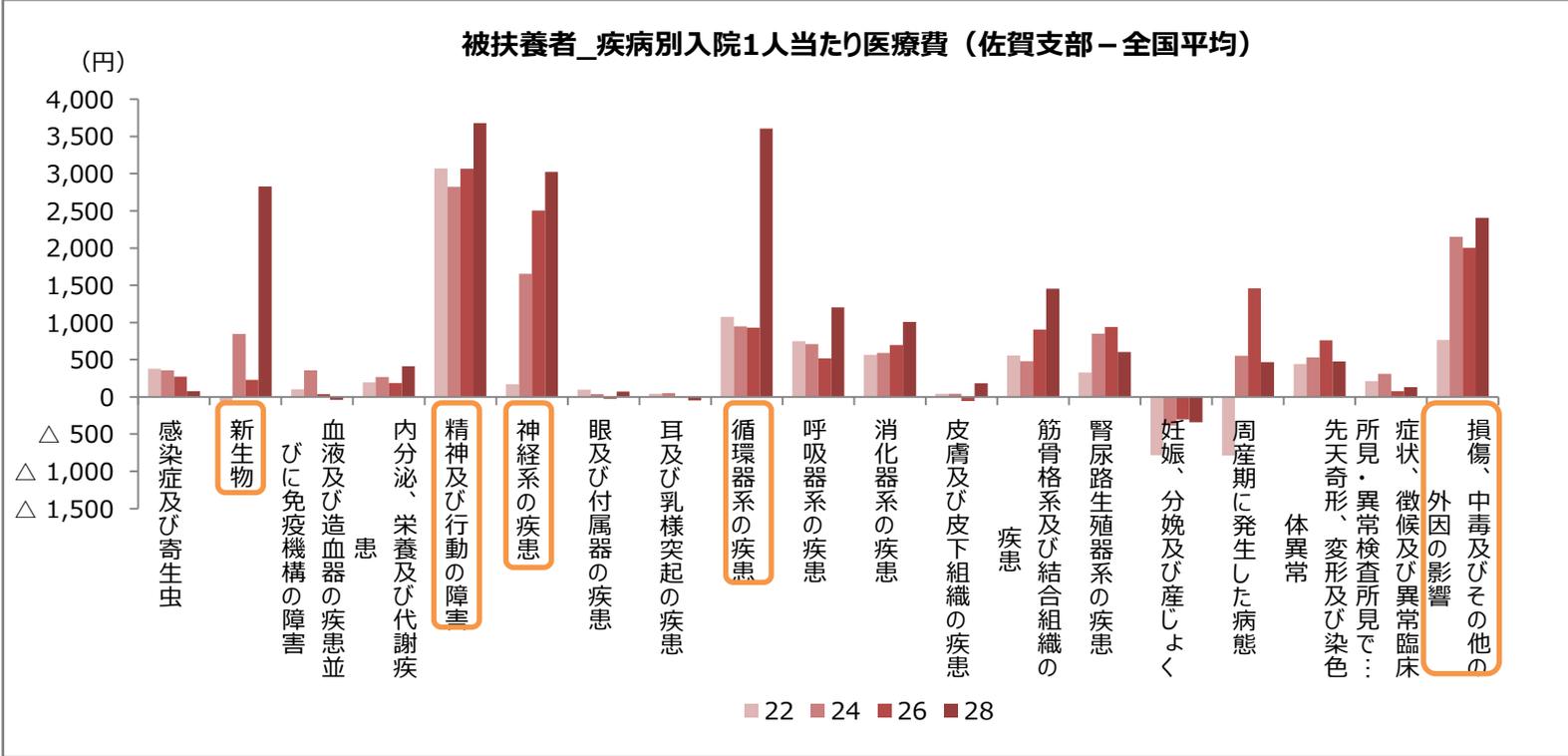
# 【入院】疾病別の1人当たり医療費（被保険者）

- ▶ 全国平均との差が顕著なのは、「新生物」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」である。
- ▶ 特に、「新生物」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」は拡大傾向にある。



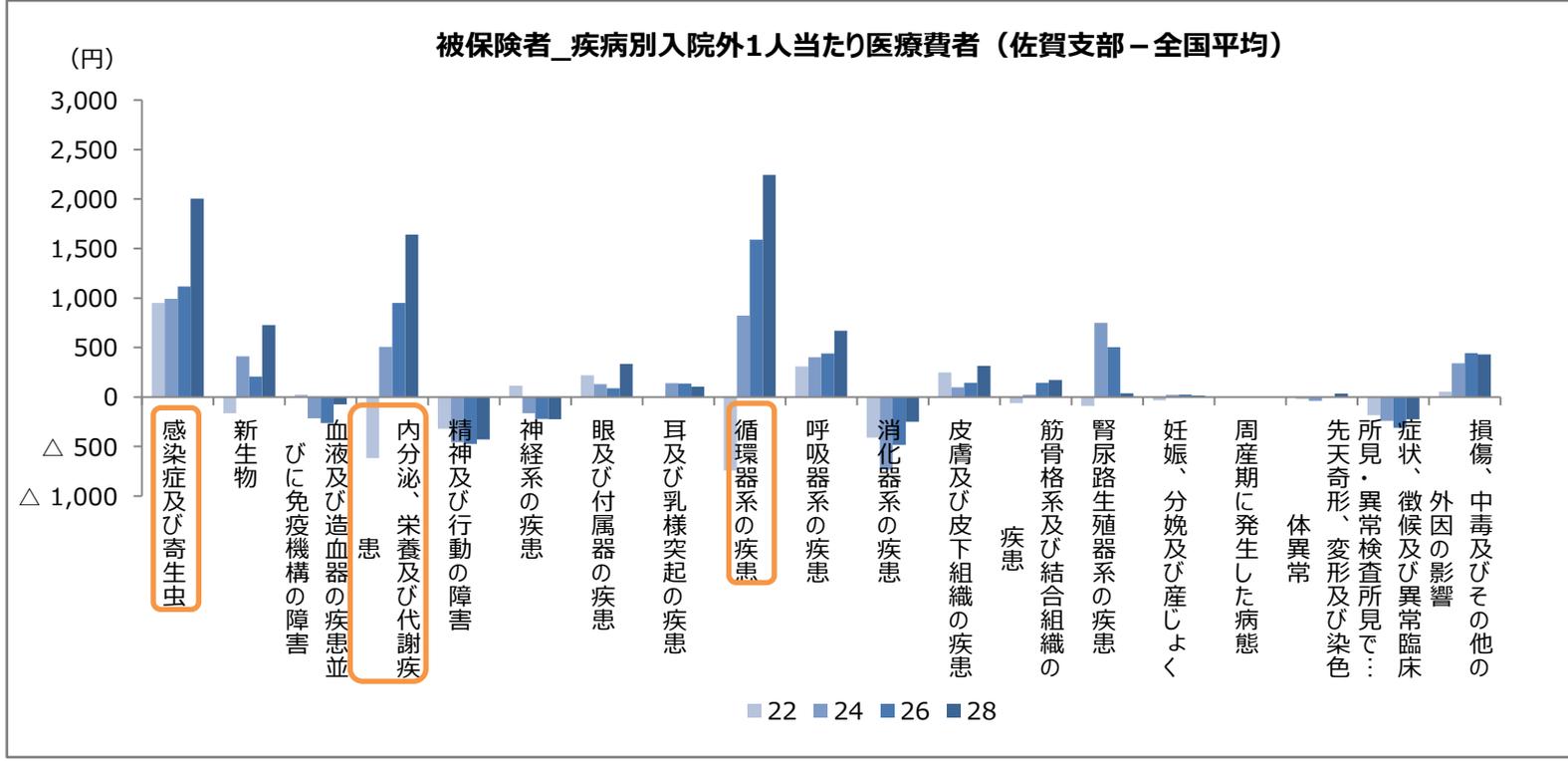
# 【入院】疾病別の1人当たり医療費（被扶養者）

➤ 全国平均との差が顕著なのは、「新生物」、「精神及び行動の障害」、「神経系の疾患」、「循環器系の疾患」、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」であり、いずれも拡大傾向にある。



# 【入院外】疾病別の1人当たり医療費（被保険者）

➤ 全国平均との差が顕著なのは、「感染症及び寄生虫」、「内分泌・栄養及び代謝疾患」、「循環器系の疾患」であり、いずれも拡大傾向にある。



# 【入院外】疾病別の1人当たり医療費（被扶養者）

➤ 全国平均との差が顕著なのは、「感染症及び寄生虫」、「内分泌・栄養及び代謝疾患」、「精神及び行動の障害」、「循環器系の疾患」、「呼吸器系の疾患」、「腎尿路生殖器系の疾患」であり、いずれも拡大傾向にある。

